

令和7年2月21日

件名 高崎市教育センター「春の教育セミナー」の開催について

---

高崎市教育センターでは、日頃の取組を公開するため、研究員の研究成果の発表、最新の情報発信等を目的に、3月1日の土曜日に「春の教育セミナー」を開催します。

内容は、研究員による1年間の研究成果の発表と公開講座です。

公開講座では、東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛先生を講師に迎え、「ウェルビーイングを実現する教育の在り方」というテーマで講演をいただきます。「教育におけるウェルビーイングとは何か。また、子どもや教師のウェルビーイングの向上に必要とされることは何か、を考えるきっかけとなるよう企画しました。

昨年度と同様、Zoomによるオンライン配信（リアルタイム開催）となりますが、視聴者同士の意見交流や、質疑応答の時間を設定し、教育センターと視聴者が双方向でつながるセミナーとなります。

また、各種SNSにより、教職員はもとより、広く全国の教育関係者へも参加を呼びかけています。オンラインのよさを生かし、全国の方々に高崎市教育センターの取組を知っていただくとともに、様々な立場の方々と学校教育や今日の教育課題等について意見を交わすことができる、そのような場になるとよいと考えています。

日時 3月1日(土) 12:25~16:00 ※オンライン開催  
内容 研究成果発表、公開講座  
対象 県内外の教育関係者、出版社等教育関連の関係者

その他

詳細は、添付の教育センターだよりを御覧ください。

---

【本件に関する問い合わせ】

教育センター

電話:027-329-7111

# 高崎市教育センターだより

問い合わせ先 高崎市教育センター  
〒370-3531 高崎市足門町1678番地1  
TEL 027-329-7111

## 令和6年度 高崎市教育センター「春の教育セミナー」

日時

令和7年 3月1日(土) 12:25~16:00

※受付(ログインは12:00~)

Zoomによる  
オンライン開催

申込み  
方法

◇下記URLか右の二次元コードから Google フォームにてお申込みください。

<https://forms.gle/i3CtfAE4i34cjC25A>

◇申し込まれた方には、2月20日(木)から順次視聴方法等の詳細をメールにてお知らせします。

【申込期間】本たよりがお手元に届いた日から令和7年2月26日(水)17:00まで



令和6年度高崎長期研修研究員・高崎特別研修研究員による研究成果発表会が行われます。どの研究内容も、先生方が明日からの実践に生かせる内容となっています。

発表会後は公開講座も行います。ぜひ、Zoomにて、春の教育セミナーにご参加ください。

12:00~	受付(ログイン)及びセミナー案内				
12:25~	開会のあいさつ				
長期研修研究員・特別研修研究員の研究発表					
12:40~	特研・小・外国語	特研・小・特別活動	特研・小・社会	長研・中・教育相談	特研・小・道徳※
13:00	清水 麻美	田辺 純也	山崎 翔平	萩原 悦子	西村 由美
13:05~	特研・中・総合	特研・中・数学	特研・小・図工※	長研・中・外国語	長研・小・家庭
13:25	松下 智紀	井上 智仁	栗本 美紀	東谷 美代	岡本 貴子
13:30~	特研・小・外国語	特研・小・特別活動	特研・小・社会	長研・中・教育相談	特研・小・道徳※
13:50	清水 麻美	田辺 純也	山崎 翔平	萩原 悦子	西村 由美
13:55~	特研・中・総合	特研・中・数学	特研・小・図工※	長研・中・外国語	長研・小・家庭
14:15	松下 智紀	井上 智仁	栗本 美紀	東谷 美代	岡本 貴子

※は、特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり・環境づくりの研究

### 公開講座

14:30~16:00

「ウェルビーイングを実現する教育の在り方」

講師 東京大学公共政策大学院

すずき ひろし  
教授 鈴木 寛 様



教育活動を通じて、一人一人の多様なウェルビーイングの実現を図るための教育の在り方についての講演です。

16:00

閉会

# 学校園の課題解決について一緒に考えてみませんか

## 【高崎長期研修研究員の研究】

岩鼻小学校 岡本 貴子 先生

(小学校・家庭科)

自らの生活に目を向け課題解決する児童の育成

一問題解決的な学習のための「解決ナビ」の活用を通して—

各題材の学習内容を関連付けたり、学習内容と生活を関連付けたりしながら、問題解決的な学習の充実が図れるよう、「解決ナビ」を活用して実践を行いました。「解決ナビ」の活用により、教師が「させる」授業から児童が「する」授業へと転換を図り、自らの生活に目を向け課題解決する児童の育成を目指しました。

高松中学校 萩原 悦子 先生

(中学校・教育相談)

学校全体での発達支持的教育相談体制の推進に向けて

—「教育相談活動年間計画」と「教育相談活動プランメモ」を基にした取組を通して—

「教育相談活動年間計画」と「教育相談活動プランメモ」を活用した話し合いをすることで、児童生徒の実態に合った教育相談活動について考えました。その後、教職員で共通理解を図ることで、一人一人の教職員の発達支持的教育相談に対する意識や教育相談活動に向けて実践意欲を高め、発達支持的教育相談体制の推進を目指しました。

並榎中学校 東谷 美代 先生

(中学校・外国語科)

伝えたいことを論理的に英語で書くことができる生徒の育成

—「話す」と「書く」をつなぐ蓄積メモの活用と相手に伝わりやすく文を整える活動を通して—

単元の最後の活動と関連のあるトピックについて、Small Talkで話した内容を、タブレットで書いて記録し、蓄積しました。それらを基に、段落構成や文の順序、内容のつながりについて見直す活動を通して、既習事項を用いて読み手に伝わりやすい英文を書くことができる生徒の育成を目指しました。

## 【高崎特別研修研究員の研究】

※は特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり・環境づくりの研究

新高尾小学校 清水 麻美 先生 (小学校・外国語科)

主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする児童の育成  
—自らの学習を調整し、他者に配慮した言語活動を進める自由進度学習を通して—

小学校外国語科において、自らの学習を調整するための難易度を選択できる課題や、他者への配慮を考えながら言語活動を進めるための工夫を施した課題を取り入れた自由進度学習の実践を通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする児童の育成を目指しました。

中居小学校 栗本 美紀 先生 (小学校・図画工作科※)

小学校図画工作科において自分の見方や感じ方を広げる児童の育成  
—材料なかよしタイムと見つけて伝え合う活動を通して—

小学校図画工作科において、UDの視点(共有化、視覚化、焦点化)に基づいて、材料と関わりながら造形に関する言葉を集める「材料なかよしタイム」と、作品を見て感じ取ったり考えたりしたことを伝え合う「見つけて伝え合う活動」を設定することで、どの児童も、作品に対する見方や感じ方を広げることができるようになりました。

八幡小学校 田辺 純也 先生 (小学校・特別活動)

「なりたい自分」の実現に向けて取り組む児童の育成  
—記録を1枚に蓄積した「つながりシート」を活用する学級活動(3)の工夫—

学級活動において、自己実現を図ろうとする態度を養うために、各自で設定した「なりたい自分」に向かって実践を行い、「つながりシート」に記録を蓄積しました。「つながりシート」を活用することで、意志決定した目標に取り組み、達成感を味わったり自己理解を深めたりして、児童が自己の成長や変容を感じ取れる研究を行いました。

第一中学校 井上 智仁 先生 (中学校・数学科)

学びをつなげ、論理的な思考を構築することができる生徒の育成  
—説明活動における根拠を追究する対話的な学びを通して—

中学校数学科の説明活動において、予想を基にして話し合うことで根拠を捉えたり、自身が説明している動画を見直すことで、より筋道立てて説明できるように考え直したりする対話的な学びの工夫を取り入れました。学習内容のつながりから論理的な思考を構築することができる生徒を育成することを目指しました。

豊岡小学校 山崎 翔平 先生 (小学校・社会科)

社会的事象を多角的に考え、表現する児童の育成  
—立場の可視化の工夫と自分と社会をつなげる問いの設定を通して—

小学校社会科の学習において、「思考ツールを用いた立場の可視化の工夫」と、「社会的事象と自分をつなげる問いの設定」を行うことで、社会生活の課題について複数の立場や意見をふまえて解決策を考えることができる児童の育成を目指しました。

佐野中学校 松下 智紀 先生 (中学校・総合的な学習の時間)

実社会・実生活の中の課題をよりよく解決しようとする生徒の育成  
—探究のプロセスにおける「情報の収集」と「整理・分析」の工夫を通して—

中学校総合的な学習の時間において、探究のプロセスにおける各学習活動の位置付けを明確にするとともに、設定した課題の解決に必要な「情報の収集」と単元の最後に行うまとめ・表現に必要な「整理・分析」の活動を工夫することで、探究的な学習を実現し、課題をよりよく解決しようとする生徒の育成を目指しました。

東部小学校 西村 由美 先生 (小学校・特別の教科道徳※)

自己の生き方について考えを広げる道徳科の指導  
—考えを比べるワークシートとパッケージ型ユニットを通して—

小学校道徳科の授業において、思考の広がり可視化する「考えを比べるワークシート」と道徳の授業を他の教育活動とつなげる「パッケージ型ユニット」を取り入れることで、自己の生き方について自分事として考えられる児童の育成を目指しました。

皆様の参加を  
お待ちしております。

